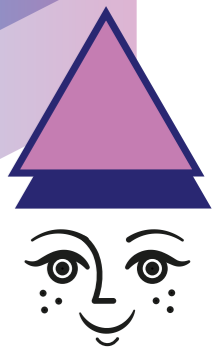


社会をすくすく 逸脱してみる



2022.12.26

よ会 まちあそび学会

まちあそび学会は、「社会を少し逸脱してみる」をテーマに大人を言わ、参加者全員が「まちあそび」を体感し、高校生が活動で発見したことに共感する。そして、高校生から学びを得るイベントです。
この日は、メンバーをはじめ、高校生や市内外のまちづくり団体、自治体関係者、教員など95人が参加しました。
燕市の高校生がまちを使っ
てあそび始めてから約2年
半。活動を振り返り、そこから
得られた学びを参加者同士で
共有することが会のねらいで
した。

まちあそび学会の動画は二次元コードからご覧いただけます▼



発見

- ワークショップ
- トークセッション

「あそびをふりかえる」をテーマにワークショップを行い、参加者それぞれが体験会で感じたことを付せん書き出して意見交換をしました。
その後、現役メンバー3人とOG 若新さん、慶應義塾大学SFC研究所上席所員の木村紀彦さんによるトークセッションを行い、それぞれが活動で感じたことなどをざっくばらんに語り合いました。



遊んでいるだけでは、何も残らない。結果が生まれられない。成果物の積み上げができないと考える人もいるかもしれません。
しかし、まちあそび部は単に遊んでいるのではなく、活動の中で発見したことを学びに変えています。どうして楽しいのか、自分にとって何が楽しかったのかを振り返り、言葉や文字にするとそれが、まちに対する思い出や気づきとなります。

この発見が、まちが楽しいという愛着心、そして、まちに関わり続けたいと思う気持ちに繋がっていきます。

体感

- 体験ブース

まず、高校生が普段どのように取り組んでいるのか、参加者に体感してもらうために体験会を行いました。

内容は、大人気ゲームのリアル版「ピシャッとカラーバトル」、オリジナルブレンドコーヒー「まちあそび部ブレンド」の試飲、現役JKから学ぶ「コスプレ＆「JKのひるやすみ」ダンス」、メンバーが開発した「オリジナルボードゲーム」、燕三条エフエム放送のラジオ番組「JKのひるやすみ」特別編公開収録の5つです。
参加者が各ブースを順番にまわりました。



◇ピシャッとカラーバトル



◇参加者全員でランチ会



◇オリジナルボードゲーム



◇コスプレ＆TikTokダンス



◇まちあそび部ブレンド



◇「JKのひるやすみ」公開収録

学び

- 講演会

まちあそび学会全体の振り返りと合わせて、若新さんの講演会を行いました。

高校生がまちに与える力

「まち」は、そこに暮らす人々と切っても切れない関係です。

つまり、すでに市内全ての高校生たちが、まちに何かしらの影響を与えています。「無関心」も影響の1つです。大切なのは、その一人ひとりの与えている大きささまざまな影響に目を向けてみることで、そして、それに気づくことだと思えます。そのためには、大人が変に「与える力」みたいなものに期待せず、決めつけず、高校生たちとまちの人がただ関わり合ってみれば良い

のではないのでしょうか。そうすれば、「すでに高校生がまちに与えている何か」、さらには、「まちが高校生に与えている何か」、にも気づくことができるかもしれません。

感覚を鍛える

まちあそび部では、高校生が大人と取り組む過程において、それぞれに何かしらの変化や感覚が生まれることを大切にしています。

その生まれてくるものは、あそびから感覚的に溢れてくるもので、それを見逃さないようにすることが重要です。
あそびを通じて得た発見を振り返ることが、「感覚を鍛える」ことにつながります。

